

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 まるきた	代表者	瓶子 美智子	法人・事業所の特徴	通い・訪問・宿泊のサービスを切れ間なく提供します。在宅での生活困難者の受け入れやレスパイトケアを行い、利用者様・ご家族様・地域から信頼され、頼れる事業所を目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所たゆたふ	管理者	油井 美紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	催し物に頼らずに、事業所から発信することで事業所の取り組みや利用者様の声を届けられるような情報発信を働きかける。	社会情勢の動向を見ながら、感染対策を講じ、事業所内のイベントを開催することができた。ご家族等に向けて、事業所の取り組みや様子を発信することができた。	コロナウィルスの感染状況を見ながらのイベント実施となったが、面会や外出等の制限もあり、思うように接触が難しかった。	感染対策を取りながら、利用者様に喜んでいただけるような催し物を企画し、満足度を上げていけるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	清潔保持、感染防止策を継続しながら、利用者様が事故や怪我の室内外の環境を整備する。	日々の館内清掃を継続しつつ、感染状況に合わせて、適宜換気や消毒に努めた。利用者様の動線上の危険な箇所は日々の中で確認し、ケガや事故に繋がらないようにした。	入館時の体温チェックや面会チェックシートを活用して感染防止に努めているのが分かった。	引き続き館内の清潔を保ちつつ、環境整備に努め、不快に感じない事業所作りを継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	定期的に広報誌を作成し、事業所の活動を知って頂くことで、地域住民向け相談窓口として関わりが持てるよう地域へ働きかける。	地域の方に向けた広報誌の作成があまり出来ておらず、事業所の活動内容の発信が弱かった。近隣の方々が相談に訪れることがあり、事業所の説明やパンフレットをお渡し対応した。	そこに施設があるという事は理解してくれているが、中身までは分からないところがある。何かあったときに相談できる場所であって欲しい。	ご家族様や近隣の方に向けた広報誌を作成し、事業所の情報発信を行い、事業所の認知度を上げ、理解を深めていけるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者様やご家族の意見を伺いながら、利用者様が自分らしく地域での生活が保持でき、また繋ぎ直しを事業所を通し行いながら働きかけを継続する。	住み慣れた場所で生活が維持できるように、今までの生活歴を聞き取りし、利用者様にとって安心して生活できるよう心掛けて対応することができた。	近所に施設があるという事は、何かあったときに相談がしやすく安心できる。	利用者様やご家族様が安心して生活できるような地域資源の一環として、サービスを提供していけるように努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	社会情勢を見ながらコロナウィルス感染対策を取り、開催ができるタイミングで地域運営推進会議を開催する。	コロナウィルスの状況から運営推進会議の開催ができず、会議の場を通して意見聴取が行えなかったが、市役所の方やご家族様が来られた時には、意見を頂戴することができた。		社会情勢を見ながら、感染対策を取り、民生委員や包括の方を含めた地域運営推進会議を開催する。
F. 事業所の防災・災害対策	年2回の避難訓練に様々な自然災害を想定した訓練を盛り込み、対応ができるよう対策訓練を行う。	感染対策を取りながら、机上での動きの確認や、避難訓練を定期的実施することができた。	災害が増えてきているので、万が一に備えた訓練を継続してほしい。	BCP(事業継続計画)を作成し、さまざまな自然災害への対策を事業所内で共有し、想定した訓練も行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
------------------	-----	----------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	油井(美)、榊原、八巻、油井(洋)、森、佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井
-------------------	------	------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	2人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達ノートの見直しを行い、今以上に必要な情報共有ができるよう、共有方法を再検討する。 ・利用開始前の利用者様の情報の共有を事前に行い、アプローチの仕方を事前に職員間で検討し、より良いケアに繋がるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・初回利用開始までに全員が集まっての話し合いの場が設けられず、書面にまとめて皆さんに周知する状況だったが、細部の申し送りは、その都度説明をするようにした。 ・伝達ノートの見直しに関して、スタッフ間で話し合いを重ね、共有方法を模索し、少しずつ改良をしている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		5	4		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		5	4		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	4	3		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		4	4	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前のアセスメントを、本人やご家族を通してしっかり確認し、スタッフ間ですぐ閲覧できる状態にすることができた。 ・利用開始前に伝えきれなかったことや、その都度不明な点は、その場で確認し、他のスタッフにまで申し送るよう意識して行えた。 ・本人が環境に慣れるまで、言葉かけを多くし、コミュニケーションを取るようにスタッフ全員が意識して取り組んでいた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・初回利用開始までにカンファレンスの時間が取れず、スタッフ全員に細部までの周知が行き届かない状況があった。 ・コミュニケーションを意識していたが、ご利用者様本人が遠慮して、特定のスタッフにしか頼めない状況が見受けられた。 ・伝達ノートの共有方法を模索しているが、なかなか形にならず、試行錯誤している。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・初回利用開始前のカンファレンスの時間を設け、しっかりスタッフ全員に本人の様子や、希望すること、ご家族の要望等まで申し送りできる状態を作り、その上でアプローチの仕方を事前に検討できるようにしていく。 ・引き続き、スタッフ全員が伝達ノートに記入できるよう、共有方法を検討し実行していけるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	油井(美)、榊原、八巻、油井(洋)、森、 佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	6人	3人	9人

前回の改善計画

・個別ノートをうまく活用し、一人一人のプランを把握し、日々のケアに意識して取り組める環境を作っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・カンファレンスを通してプランの確認や、個人ファイルにて常に共有できる環境はあったが、個人ノートの活用方法がまとまらず、個々に合わせたケアの周知が不十分だった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		4	5		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	5		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	5		9
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	3		9

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・カンファレンスにて本人の現状の目標や状態をスタッフ間で共有し、全員に周知することができた。
・ケアマネが主体となり、本人やスタッフに聞き取りを行い、振り返りや次の目標設定に活かしていた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・前回の改善計画に上がっていた、特記事項があるご利用者様に関しては個別での情報をまとめることができていたが、全員の個別ノートの作成までは至らなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・スタッフ全員がご利用者様一人一人のケアプランを把握し、本人の望んでいることに向かい、支援の方法を共有していく。
・個別での申し送りノートを作成し、一人一人の経過が時系列で分かるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	油井(美)、榊原、八巻、油井(洋)、森、佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	2人	9人

前回の改善計画

・利用者様の個々の声を聞きだしても、共有し改善していくことができていない為、個別ノート等を活用しながら、対応できる環境を作っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・個別ノートが現在模索中の為、現状の伝達ノートにて利用者様の情報を共有し、スタッフ間でもお互いに共有するように努めていた。
・担当制にて、個々で利用者様と密に接する機会を設け、利用者様の日常の会話から本人の思いを聞きだせるように支援をすることができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	4	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	4	2		9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	4	3		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	5	2		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	2		9

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・担当制にすることで、スタッフもそのご利用者様の生活状況を意識することができ、本人に合わせた生活スタイルを考え、意見してくれるようになった。
・普段と違うと思うことは、自分だけで留めず、スタッフ間で話をし共有し、経過を見ていくことができた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・日々の業務に余裕がなく、気持ちにゆとりをもって利用者様に接することがなかなかできていなかった。
・個別ノートの準備が間に合わず、現状の伝達ノートを使用している共有となっていた。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・一定のご利用者様だけに偏らないようにするため、定期的担当を変え、そのご利用者様の生活スタイルやコミュニケーションを密にとることにより、情報収集をしていく環境を作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
------------------	-----	----------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	油井(美)、榑原、八巻、油井(洋)、森、佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井
---------------	------	------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	5人	4人	9人

前回の改善計画	・コロナの状況をみながら、地域の方々との交流を図る機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・社会情勢の動きを見ながら関りの機会を検討していたが、外出や面会の制限もあり、地域との交流の場を設ける事ができなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	4		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	3	2	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	4		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	4	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・面会制限はあるものの、直接顔を見て、ご家族とお話して頂くことができた。 ・本人やご家族を通して、今までの生活歴や生活状況等をより詳しく聞くことができた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人に必要な地域資源の活用がうまくできていなかった。 ・コロナ禍で民生委員との関わりもなく、理解していないスタッフも多い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を見ながら、徐々に地域行事に参加し、交流を深めていけるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	油井(美)、榊原、八巻、油井(洋)、森、佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	3人	9人

前回の改善計画	・コロナ禍でも、社会とのかかわり方を見直し、地域資源を上手く活用して、支援に繋げていけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナ禍でなかなか地域の方との交流等もなく、地域資源の活用ができていない。 ・スタッフ全員が地域資源の理解ができていないか、不明瞭なところがある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4	3		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	2			9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		6	3		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・その方のニーズに合わせて、ご家族や本人に「通い」「訪問」「宿泊」の提案が臨機応変にできていた。 ・日々のかかわりの中から、利用者様の変化に気づき、職員間で話をしながら共有することができた。 ・地域密着型として、馴染みの病院やお店を利用することができた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況もあり、スタッフやご家族が罹患した際に「通い」や「宿泊」の受け入れが困難となるケースがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の動きを見ながら、今以上にご利用者様が地域とのかかわりを持てるような支援をしていく。 ・ご家族や本人の様子を見ながら、適切に「通い」「訪問」「宿泊」の提案を引き続きしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
6. 連携・協働	メンバー	油井(美)、榊原、八巻、油井(洋)、森、佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	4人	5人	9人

前回の改善計画	・コロナの状況で、徐々に地域活動や民生委員等に参加していただく会議等を開催し、事業所を知って頂く機会を設けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナの状況をみながら、以前のような地域活動を検討していたが、開催するまでの状況に至らなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		4	2	3	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2		7	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		9			9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				9	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の状態の変化や更新時に、訪問看護や福祉用具を交えて、担当者会議を実施し、情報の共有ができています。 ・自治体主催のオンライン研修等に、可能な限り参加することができた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前のような地域会議や地域行事への参加を検討して、コロナウィルスの状況を見ながらの判断となったが、自粛せざるを得なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・自粛から徐々に今までの活動を再開し、事業所の運営のために地域活動や各団体との交流を行い、事業所の理解を深めていただけるようにしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
7. 運営	メンバー	油井(美)、榑原、八巻、油井(洋)、森、佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	2人	7人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 年3回広報誌を発行し、回覧板を通して、近隣の方へ情報発信をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌の作成まで至らず、近隣の方への情報発信という意味では取り組みが疎かだった。 ご家族様に向けては、定期的に事業所内での様子をお知らせするために、写真を郵送し近況報告を行っていた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		4	5		9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	2	2	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	4		9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		2	3	4	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様やご家族様からスタッフに関する意見や苦情があり、早急に話し合いを行い、改善するように対応することができた。 以前より騒音に関する苦情が出ていたが、日中帯はなるべく窓を全開にせず、音が漏れないようにする等の対策を講じていた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域に事業所の活動状況を周知できず、地域の方々との連携が図れていない状況だった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域の集まりや行事に積極的に参加を行い、事業所を知ってもらい、取り組みの情報発信をしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	油井(美)、榊原、八巻、油井(洋)、森、佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	2人	9人

前回の改善計画	・事業所に必要な研修等へ希望する職員へ参加していただく機会を作り、アウトプットする機会を設けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナ禍で研修も、オンライン研修が多くなってきていたが、感染対策を取りながら集団研修への参加もできていた。 ・研修の内容が専門的なこともあり、スタッフ全員にアウトプットするまでには至らなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	3	1		9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	4	2	9
③	地域連絡会に参加していますか				9	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	4		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月の事業所内の研修は実施できており、参加できないスタッフにも資料を配布し、研修内容の周知ができています。 ・スタッフの必要な研修への参加や案内ができていた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所内のリスクマネジメントに努めていたが、同じような事故が続いてしまっていた。 ・地域連絡会や地域の研修等への参加が、人員不足等で思うように参加ができていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・事業所内の研修に参加できていないスタッフに関して、参加したスタッフを通して教えることができるようにしていく。 ・必要な外部研修へ積極的に参加をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 24日 (17:30~18:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	油井(美)、榊原、八巻、油井(洋)、森、佐藤(千)、宍戸、高木、櫻井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	4人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・介護に携わる以上、必要な制度を職員が理解できるような研修の場を設ける。 ・プライバシーの確保が出来ているか、職員同士で声掛けしながら正していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待等の研修を行い、今の現状を振り返り、かかわり方を見直すことが出来ていた。 ・プライバシーや個人情報を意識し、大声で話をしていたり、場所を配慮するようお互いに声掛けを行うことが出来ていた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	4			9
②	虐待は行われていない	9				9
③	プライバシーが守られている	4	4	1		9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	5	1		9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	7			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の研修を通して、身体拘束や虐待、ハラスメント等を勉強し、その後の利用者様のかかわりの中で意識して取り組むことが出来ていた。 ・利用者様に適正な成年後見人様との連携が図れている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーに関して、排泄後のトイレのドアが、しっかり確認もせず、そのまま開いたままの状態になっていることが度々見られていた。 ・利用者様の前で大声でスタッフが話をしないよう意識して取り組んでいたが、目が行き届かないところで大声で利用者様の話をする事があり、不快な思いをさせてしまうことがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・場所をわきまえ、常にお客様に見られているという自覚を持ち、プライバシーや個人情報に配慮しながら接するように心がける。 ・成年後見制度や高齢者虐待等の研修を定期的に行い、自分たちの意識付けを行っていく。 	